

特別企画

8月8日(水) 6時30分から 2階中講習室



*証言1

大崎在住 前田喜代江さん

戦争中、大崎4丁目に住んでおられ、昭和19年3月の空襲で防空壕に入った姉を失うという経験をされたかたです。

*証言

大崎在住 松川久男さん

昭和19年芳水国民学校に入学。強制疎開で西品川に転居。空襲で焼け出され、20年3月青梅の成木村に学童疎開という体験をされた方です。

*一弦胡弓演奏

中村昭三さん

「すてられごみです」という廃物で自作した一弦胡弓をひっさげて、先頃ウイーンまで行って広場で大喝采を受けました。そこに居合わせた作曲家の小林亜星氏の目に留まり、6月1日には永六輔氏、野坂昭如氏らと作る「世直しコンサート」にゲスト出演。品川では「へいわだいすき」の渋い老人役で活躍されている方です。

曲目は、お楽しみ。

2001年 第18回

しながわ
平和のための戦争展

くり返すまい戦争への道
—21世紀を平和な世界に—



小島義一氏 画

空襲のあくる日
—昭和二十年五月二十五日旗の台付近—

とき 8月6日(月)～9日(木)
10:00～20:00(最終日は18:00まで)
ところ 品川区中小企業センター
大井町線下神明駅下車2分

【主催】 しながわ平和のための戦争展実行委員会
連絡先 03-5742-7563西條 03-5498-2433田淵

侵略戦争とアジア

図81 戦争100年

柳条湖事件から日中全面戦争へ 1931年（昭和6年）9月18日、日本軍は中国東北部の柳条湖で南満州鉄道を爆破、中国軍のしわざとして一斉攻撃を開始しました。（満州事変）これが「15年戦争」と呼ばれる戦争の始まりで、今年には70年目にあたります。

また、1937年（昭和12年）7月7日、盧溝橋事件によって、中国との戦争は全面戦争へと拡大していきます。「殺しつくし」「焼きつくし」「奪いつくす」作戦を行い、多大な苦痛を与えました。

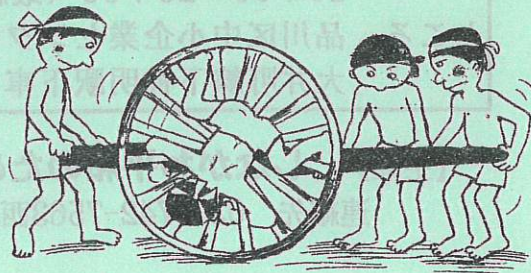
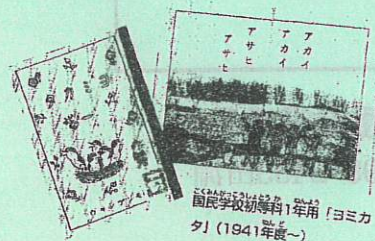
侵略戦争の拡大ーアジア・太平洋戦争へー 1941年（昭和16年）12月8日、早朝日本軍はマレー半島に上陸。ハワイの真珠湾を奇襲攻撃し、天皇の名において米英に宣戦布告し、太平洋戦争が始まりました。東南アジアの広大な地域に戦場を拡大し、2000万を超えるアジア諸民族に多大な犠牲を与えてきました。過去の歴史を正しく認識し、21世紀への教訓にしなければと考えます。

品川の空襲

昭和20年に入ると敗戦の色が濃くなり、本土への空襲が激しくなってきました。品川には、5月24日大きな空襲がありました。当時、荏原区中延にお住まいだった小島義一さんは、平和への願いを込めて、このときの空襲を12枚の絵にしてくださいました。絵が語るものをじっくりご覧下さい。

戦争と子どもたち

太平洋戦争の頃、子どもたちは、どんな教育を受け、どんな生活をしていたのか、当時の写真や絵、作文、教科書、雑誌などを通して知ってください。そして、戦争がどんな影響を与えるのか考え、話し合う一助にしてください。



教科書から見えてくるもの

戦後、青空教室から出発した民主教育、墨ぬり教科書や「新しい憲法の話」を勉強した子どもたち。あれから50余年。史実をねじ曲げ、戦争を賛美する教科書も検定を合格してきている今、歴史の真実をきちんと伝え続けられるようみんなで考えあっていきましょう。

核兵器と戦争のない21世紀をめざして

東京に「世界の子ども像」完成! (品川高校生平和ゼミナール)

アメリカに「原爆の子の姉妹像」を建てた一少年の呼びかけ（1996年）を受けとめて始まった「世界の子どもの平和像」を東京に作ろうという運動は、21世紀最初のこどもの日（5月5日）に除幕式を迎え、結実しました。「像」は、江東区の政治経済研究所に仮設置されていますが、「第五福竜丸館わきに設置を」と運動をすすめています。

平和への願いを込めて、子どもたちの手によって建設された平和像をぜひ見て欲しいものと思います。1000万円を超える募金が集まりました。建設活動の中で多くのことを学びました。地域の皆さん本当にありがとうございました。



実物が語る戦争

今年、小山在住の若林栄二郎さんが、長い間かけて集めた戦争当時の貴重な「実物」を提供してくださいました。百聞は一見に如かず。実物が訴える声を聞いて下さい。

陸・海軍軍刀、軍帽、陸軍刀鎖付きバンド、鉄かぶと、米軍100連機関銃弾38式歩兵銃の五連発弾、ラッパ、祝入隊旗、もんぺ上下、防空頭巾、千人針、ブリキおもちゃ（機関車、ポスト、バケツ、金魚）、紙芝居「空白の遺書」、週報、写真週報 等

